

# 高松市議 (市民派改革ネット)

## 植田 まきの 市政ニュース

<http://uetamaki.com/>



### 課題山積の高松市政・議会

## 4年ぶりに再び、頑張ります!



4月26日に投開票された統一地方選後半戦の高松市議選では、定数40人に50人の立候補があり、激戦と言われながらも過去最低の低投票率でした。

そんな中、植田は3,848票(13位)と、前々回から得票・順位ともに下げましたが、3期目のスタートです。  
※個人の選挙運動への謝辞は公職選挙法にて禁じられています。ご理解をお願いします。

### 市民派2人当選! 会派結成!

そしてなによりも、同じ市民派の仲間である、太田あゆみさんの上位当選により、高松市議会でも市民派の2議席獲得は本当に嬉しいです。政党や組織による従来型の選挙が根強い中、政党や組織のない私たちに期待されているのは、選挙のスタイルや議会を変えることだと思います。2人で、新会派「市民派改革ネット」を結成しました!

### 2015年統一地方選をふり返って

今回の統一地方選では、高松市に限らず、多くの自治体で投票率の戦後最低記録を更新し(高松市議選では、47.63%)、無投票当選も相次ぎました。香川県議会は、無投票の選挙区が多く(高松市選挙区も!)、3分の2の議席が選挙せずじまになってしまいました。

私たちの生活に一番身近な地方選挙ですが、「低投票率」と「無投票当選」の背景には、「政治は特別なもので、特別な人がやるもの」という意識があるからでしょうか。

### 8か月の娘を抱えながら...

個人的には、昨年の出産から、自身の体調回復が思うようにいかず、立候補の準備が十分にできないまま選挙戦に突入。私にとっては、厳しい選挙でした。

私は、8か月になる娘を毎朝、保育園に送ってから選挙カーに乗り込み、1日約40か所、「議員の雇い主はみなさん。厳しい目を身近な政治の場に向けて欲しい」と、街頭から訴える選挙戦を展開。さらに、ムダなお金は使わず、選挙はがきや電話かけも一切しない選挙を行いました。



↑ KSBスーパーJチャンネル(4/28)「女性議員なぜ少ない? 女性候補の選挙戦を追う」の特集番組で、植田の選挙の様子が取り上げられました!

### 市議会は変わるか?

しかし、相変わらず、自民党系会派(自由民主党議員会 18人と同志会 6人)が過半数を占めることから、高松市議会の勢力図は、ほとんど変わりません。高松市議会は、多くの課題を抱えた市政のチェックを行うこと、さらには、全国的に遅れている「議会改革」を進めることができるのだろうか? ぜひ、皆さんの厳しい目を議会に向けてください。



植田さん再び咲き「子育てモデルに」  
2期ぶりに立候補した植田眞紀氏(39)が、再び咲きを果たした。「身近な市議

会に目を向けてほしいと訴えたが、投票率は低かった。反省材料として議会改革を進め、議論のできる場にしていきたい」と話した。  
2003年に女性では史上

返り咲きを果たし、笑顔で花束を受け取る植田氏(27日午前0時30分、高松市の事務所)

上最年少の27歳で初当選。連続2期務めたが、「外から議会を見つめ直したい」と前回は出馬を見送り、大学院で公共政策を学んだ。「議員が身近に感じられれば市民も政治に関心を持つはず」。満を持しての再挑戦となった今回、本会議での質疑を一回一答方式にする議会改革や、公聴会の開催による市政への市民参加を訴え、支持を広げた。昨年8月に長女を出産したばかり。「子育てしながら働く女性のモデルとなれるよう頑張りたい」とも述べた。

# 県議の政務活動費

## 監査結果は「違法なし」?!



## 受け取りません! 議会出席手当

植田が代表を務める「市民オンブズ香川」が、2月17日付けで提出した香川県議会の政務活動費に関する住民監査請求の結果が、5月8日に出され、監査結果や今後の動きについて会見をしました。

しかし、香川県議会のように41人の議員のうち29人がこのような支出をしているのは、全国的には少数派です。会費制ではない会合への支出は公職選挙法で禁止された寄付に該当することから、禁じている議会もあります。

### 報酬とは別に「交通費、日当」

議員が議会に出席するだけで（1時間や2時間の会議でも！）、報酬とは別に「費用弁償」が税金から支給されます。高松市議会の場合、議員の自宅から市議会までの距離が4km未満だと1日6,000円、4km以上は6,500円、公用車使用の場合は3,000円となっており、その算定根拠は不明です。しかし、議員が議会に出席するのは当然のことで、そのために報酬が支給されています。



↑ KSB スーパーJチャンネル(5/11)

### ぼらまきの実態が明らかに

この問題が浮上してきたのは、ようやく2013年度からすべての領収書を公開するようになったからです（それまでは1万円を超えるものだけ公開）。本来、議員の政策立案に使われるべき政務活動費が、議員の地元にはばらまかれていた実態が、今回の問題を通して明らかになりました。

### 2会派が受け取り拒否!

5月15日の臨時議会出席分から、費用弁償の支給が始まりますが、市民派改革ネット（植田・太田）と共産党市議団（岡田・藤沢）の2会派は、今後支給されるものも含め受け取り拒否を表明。全国的には、費用弁償を支給している市議会が少なくなっている上、高松市議会のようなどんぶり勘定は、ほとんどありません。この制度を早急に廃止し、限られた税金を真に必要なところに使っていくべきだと考えます。（※5/16の四国新聞に掲載）

### 公選法違反には触れず

監査結果では、意見交換会費2,360件、合計約1,700万円の大半は不適切と裏付ける証拠がないことから「却下」（門前払い）されました。また、1日19件も会合をはしご、県外出長中の意見交換会も配偶者などの代理が出席していることから、「違法とまでは言えない」としています。

### 今後の取り組みは…

この問題以外にも不透明な支出として、会派や議員連盟への支出の問題があります。今後は、住民訴訟や刑事告発、県議会に対しては改善を求める陳情書提出、さらに、広く県民の皆さんとの学習の機会をつくる予定です。

## お知らせ

### 《植田まきの市政報告会》

★6月19日(金)18:30~

@植田まき事務所

(仏生山町甲 449-2/Pあり)

★6月23日(火)19:00~

@おおにし美容室 TEL821-8933

(片原町 1-10/片原町商店街・三越南側)

住民の皆さんに「情報発信」し、住民の皆さんと「情報共有」することをめざし、8年間ずっと続けてきた報告会。市政や議会等のことについて、ざっくばらんに話しましょう!これまでと同様、市内2カ所で開催します。ご都合のよい方にご参加ください。

(無料/予約不要)



☆あとがき☆  
改選後初めてのニュース発行となりまして、これからこのニュースをはじめ、ホームページやSNS、市政報告会などで、しっかり情報発信を行うていきます。6月議会から本格的な議会になるので、次号のニュースから紙面を増やして発行させていただきます。ご期待ください。なお、このニュースには政務活動費は使いません。先日の臨時議会では、所属委員会等も決まりました。この一年間は、経済環境常任委員会、総合交通対策特別委員会に所属することになりました。この分野について、ご意見等をいただきたいと思います。

### 植田まき☆プロフィール



- 1975年、高松市仏生山町で生まれ育つ。香川大学大学院（教育学）修了後、スポーツ指導員や中学校講師として働く。
- 議員インターンが転機となり、27歳で最年少高松市議に。
- 2期8年の議員活動の経験を活かし、2012~2年間、立命館大学大学院（公共政策）で主に地方議会の研究に勤しむ。
- 昨年、長女を出産。（育児に奮闘中!）